

2017年10月16日～18日(第19～24回)
2017年度JLA中堅職員ステップアップ研修(2)
領域:図書館経営

図書館サービス計画

図書館サービス計画の立案・策定について

大石 豊(千葉県立東部図書館)
認定司書番号1085

1

はじめに

公共図書館は何のためにあるの?

資料や情報の提供、レファレンスサービスで

- ひとの成長を支える 生涯にわたる自己実現
例*「未見の我」(安積得也)
*「子どもの図書館」(石井桃子) 読書の効用
- ひとの課題解決に役立つ
- 社会の形成や地域の課題解決に役立つ
- レクリエーション: Re creation(再創造 休む「ホッとす
る」→考えが思い浮かび、解決や創造のヒント)

2

子どもと本(文字)の世界

- 「...子どもが、本(文字)の世界にはいって得る利益は、大きく分けて二つあると思います。一つは、そこから得た物の考え方によって、将来複雑な社会でりっぱに生きてゆかれるようになること、それからもう一つは、育てゆくそれぞれの段階で、心の中でたのしい世界を経験しながら大きくなってゆかれることです...」
『子どもの図書館』石井桃子著、岩波書店、1965.5。(岩波新書559)まえがきpiv

3

- 「わからないから」、「困っているから」
図書館に来る、探す、図書館の人に聞く
(例 インターネット検索では見当たらない、30年以上前のこと:昭和のこと、戦後70年経過:戦時中の暮らし)
- 資料や情報を探す、調べもののお手伝い
- リクエストやレファレンスサービス
- インタビュー、誠実に話を聴く姿勢(利用者のペース)、専門的知識と経験によりベストを尽くす、利用者が探していた答えを発見

4

公共図書館・移動図書館を 利用しなかった理由

- ・図書館に行く必要性を感じない、興味がない: 35.7%
- ・本や雑誌は購入する:26.5%
- ・余暇がない:19.3%
- ・図書館が近くにない:16.8%

「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」(国立国会図書館関西館図書館協力課 国立国会図書館2015-03-31) 集計レポート Q25 から

5

図書館サービス計画の趣旨

- 図書館の存在理由、必要性を示す。
図書館がないと、支障があること、困ることは何か?
- 図書館の必要性、支持、理解を説得力を持って広げるために。
- 法的根拠、政策動向、実証的な資料、数量的な資料などの客観的な理由や根拠に立った考え方により説得力を持たせる。
- 図書館を取り巻く地域の諸条件の把握し、住民本位・サービス本位の図書館へ

6

図書館法

(定義)

第二条 「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設

* 民主主義国家、社会を形成する基となる民主主義を支えるには、国民一人ひとりが人間として賢くなければならないということ。

7

(図書館奉仕)

第3条「図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

1号 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記

8

録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録を含む。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。

2号 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

3号 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

9

4号 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

7号 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

9号 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること

10

図書館の設置及び運営上の望ましい基準

文部科学省ホームページ 図書館の振興
図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年12月)
に関する関係書類について
活用と普及、取組事例の共有

○公立図書館の在るべき姿がバランスよくまとまり、図書館運営を進めやすくなった。図書館サービスの質の向上
・公立図書館(市町村立図書館、都道府県立図書館)とともに、私立図書館の規定が入った。

◇自治体の図書館で、比較的よく達成できている項目

◆同館で、これからの課題と思われる重要な項目

11

- 図書館法第7条の2に基づく
- 図書館の健全な発達を図るため...
- 図書館法の改正(平成20年):社会の変化や新たな課題への対応の必要性などを受けた全部改正
- 基準には法的な強制力はない。議会質問が基準の規定と図書館の設置・運営について出れば、回答を要する。

12

- 『図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き』(日本図書館協会図書館政策企画委員会望ましい基準検討チーム編 日本図書館協会 2014.1)
- 解説、活用の視点
- 基準、通知文、会議報告書等

13

公立図書館の基本的役割

(望ましい基準)

- 知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ
- 資料(電磁的記録を含む。以下同じ。)や情報の提供等の利用者及び住民に対する直接的なサービスの実施や
- 読書活動の振興を担う機関として、
- また、地域の情報拠点として、
- 利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、
- 地域の実情に即した運営に努めるものとする。

14

「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について: 知の循環型社会の構築を目指して」中央教育審議会答申 2008

- 「継承」と「創造」等を通じた持続可能な社会の発展を目指す視点
- ・蓄積された様々な経験・知識等の「知」が継承され、さらに 新たな創造や工夫につながる社会をつくることにより社会が発展していく。
 - ・真の生涯学習社会の実現:
各個人が学習したことにより得られる様々な経験や知識等の「知」が社会の中で「循環」し、それがさらなる「創造」を生み出すことにより、社会全体が発展していく持続可能なシステム
 - ・人々の経験や知識等の幅広いあらゆる「知」が社会の中の様々な主体間や世代間で共有・継承され、それらの学習した成果が活用され、社会に還元される仕組みを形成していくことが、我が国社会全体の教育力の向上につながるものであり重要である。

15

知識社会

- * 知識社会と人間の成長
「...知識社会では人的投資が生産条件、つまり社会的インフラストラクチュアとなる。...」
「...社会経済つまりソーシャル・エコノミーを発展させるには人間の絆である社会資本が決定的要因となる。人間の能力を高めるには、知識を与え合うことが重要だからである。...人間の能力は知識を交流させなければ高まらない...人間が相互に動機づけ、相互に知識を与え合わなければならない。...」
- 神野直彦著『地域再生の経済学・豊かさを問う』(中央公論社、2002.9 (中公新書1657)) 知識社会の公共サービス:p146-
- 神野直彦著『「人間国家」への変革』(NHK出版 2015.6 (NHK BOOKS 1231)) 「学びの社会」を創る:p77-99

16

- 知の要求、獲得、活用、知の創造、発信
- 情報の蓄積・組織化、情報の提供と活用
- 知の成果の共有や、デジタル・ネットワーク
- 図書館において知の花を咲かせる
 - ・ 住民の情報リテラシーの向上
 - ・ 調べ物の支援: 資料や情報の裏付け、信頼性、エビデンス、数値や根拠の必要性
- 読書活動の振興: 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 文字・活字文化振興法: 図書館の設置・配置の努力、司書の充実、図書館資料の充実、情報化の推進等運営の改善・向上の施策
- 古典の日(11月1日): 古典に親しむ機会、例 和書

17

図書館の管理運営(望ましい基準)

- ・基本的運営方針: 設置の目的、社会の変化・地域の実情
図書館サービスその他図書館の運営の指標・目標、事業計画、利用者・住民の要望、社会の要請
- ・図書館サービスその他図書館の運営の状況(目標、事業計画の達成状況等)の点検・評価等
- ・図書館協議会の活用その他の方法、評価
- ・図書館の運営の改善
- ・点検・評価、運営の改善措置の内容の公表

18

図書館協議会

- 館長の諮問機関、意見具申機関
- 望ましい基準は、図書館協議会の役割を重視
- 図書館運営の提言、サービス計画、運営の点検・評価
- 図書館の管理運営の基本案件（指定管理者の導入、基幹的業務の委託）

19

図書館パフォーマンス指標改訂版

バランスト・スコアカードの4つの視点

- 「情報資源・アクセス・基盤」
- 「利用」
- 「効率性」
- 「発展可能性」

20

バランスト・スコアカードの4つの視点

- 財務の視点
- 顧客の視点
- 内部業務プロセスの視点
- 学習・成長の視点

21

SWOT分析

	外部環境	機会(Opportunity)	脅威(Threat)
内部環境			
強み(Strength)		積極的戦略	差別化戦略
弱み(Weakness)		段階的戦略	専守防衛・撤退

22

中小レポート 公立図書館の任務と目標

- * 『中小都市における公共図書館の運営』
日本図書館協会 1963年（刊行50年経過）
日野市立図書館の実践
都道府県立図書館の域内図書館への支援
- * 『公立図書館の任務と目標 解説』
・日本図書館協会 1989年刊
・図書館サービス計画立案の参考資料、指針
・数量的な目標あり

23

サービス計画：「プランニングプロセス」

- 米国の公共図書館協会が、全国基準に代わって導入（1970～80年代）
- 「公共図書館の個々のコミュニティのニーズを優先しかつ柔軟なサービスを提供するために、図書館員と住民が一体となって、目標を定め、調査によりデータを収集しながら計画、実施、評価のサイクルを繰り返していくもの」
（『図書館情報学用語辞典』第4版 「サービス計画」p85）

24

行財政改革、地域主権改革

- 自治体経営、首長、財政状況、行政のスリム化
- 時代の要請と社会の変化に対応したサービス、ICT(情報通信技術)
- 法規の整備、財源、意識改革、マニフェスト
- 地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくっていくことを目指す。
- 財政運営、税制、経済の自立、地産地消

25

社会教育と教育委員会制度

- 事務の所管
 - ・教育委員会の所管
 - ・首長部局に補助執行、事務の委任
地方自治法第180条の7
- 教育基本法(人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。)
- 政治的中立性
- 継続性、安定性の確保

26

公の施設

- 公立図書館は、公の施設として住民が利用する施設であり、住民の意思(希望)に裏打ちされていると、説得力のある図書館サービスができる。図書館サービスの質的向上をめざし、社会の変化や住民のニーズを把握して図書館サービス計画を企画・立案するとともに、サービスを実施して評価するサイクルにおいて司書が力量を発揮することが大切。

27

自治体の施策の優先順位

- 住民の意思が自治体の長の施策に反映されれば、他の事業に対して、図書館事業についての優先順位を変えることは可能となる。
- そのためにも、図書館の必要性、支持、理解を説得力を持って広げることが必要。

28

art

- 司書が、自己の資質、専門的能力や経験の最善をつくして利用者の資料・情報要求にこたえるため、調べ、資料・情報を提供するという図書館サービスに対する誠実な姿勢
- 「感性の練磨と積み重ねられた専門知識と技術、さらに深い洞察に基づいて図書館サービスが生まれる」(『「図書館学の五法則」をめぐる188の視点』p63)
- 司書の成長とキャリア形成、教師、看護師の世界

29

- 「司書資格取得のために大学において履修すべき図書館に関する科目の在り方について」(これからの図書館の在り方検討協力者 平成21年2月)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/019/gaiyou/1243330.htm
- 図書館に関する科目は、図書館で勤務し専門的職員として図書館サービス等を行うための基礎的な知識・技術を修得するものであり、その後、さらに専門的な知識・技術を身に付けていくための入口として位置づけることが適切。

30

- 司書に必要な資質・能力は、司書資格を取得した後、図書館の業務経験や研修及びその他の学習機会等による学習等を通じて、徐々に形成されていくものであり、図書館に関する科目はそのための基盤を形成するもの。
- このため、大学は、学生に資格取得後も学習を続けるよう奨励し、図書館の設置者は、司書に資質・経験等に応じて継続的に研修に参加させ、知識・技術を向上させるように努め、図書館職員は自主的に学習を積み重ねることが重要。
→司書の生涯学習・継続教育

31

キャリアと生きがい

- キャリアアップ: 人生の節目に振り返り、社会的承認
- 仕事と暮らし: ライフ&ワークバランス
- 利用者からの感謝や図書館員への信頼
花の咲くような喜びが読者の顔に現れるのを見たとき
(ランガナタンのレファレンスライブラリアンの最大の喜び)
*参考例 日本看護協会: 看護の日(5月12日)
全国から忘れられない看護にまつわる心温まるエピソードを募集
<http://www.nurse.or.jp/home/event/simin/episode/index.html>
→全国の図書館でエピソードは、見えなくてもあるはず。図書館も個人情報や利用者のプライバシーに留意しなければならない。

32

認定司書 (日本図書館協会)

- ・司書のキャリア形成, 司書の生涯学習
- ・司書: 公共図書館に置かれる専門的職員
- ・認定司書: 司書の専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験, 実践的知識・技能を継続的に修得した者として, 日本図書館協会の認定司書審査に合格し, 公共図書館の経営の中核を担う司書として公的に認定された人

33

- ・目的
 - ①わが国の職能集団としての司書全体の研鑽努力の奨励
 - ②司書職のキャリア形成や社会的認知向上に資すること
- ・期待
 - ①十分な知識と技能そして意欲をもって図書館に勤務する司書の継続的かつ安定的な雇用が確保されること
 - ②わが国の図書館全体の振興につながる

34

- ・対象者: 公共図書館に10年以上勤務する司書(司書有資格者を含む。)で、
一定の研修を積み重ね、
著作(8,000字以上)を著している者
- ・自己研鑽:
都道府県等の研修
図書館司書専門講座(文部科学省等)20ポイント
図書館地区別研修
- *認定司書事業委員会
<http://www.jla.or.jp/committees/nintei/tabid/203/Default.aspx>

35

親組織である教育委員会への図書館の理解

- 図書館の主管課(教育委員会生涯学習課, 社会教育等関係課)の図書館行政担当の立場からも必要とするようなこれからの図書館の運営やサービスの計画を作成する。
- 行政支援サービスや、自治体施策についての理解を深め、住民が検討するための資料を提供し、地域づくりに役立つ図書館活動は、親組織の図書館理解につながる。

36

分権の「砦」としての鳥取県庁図書室の実践

...地方分権とは単に権限や財源を国から自治体に移譲することを意味するのではなく、現場で自ら考え自ら判断することが大切である...。思考の枠組みは中央官庁から与えられるものであってはならず、自治体自ら形成しなければならない。それには、自治体が知識や情報も中央官庁に頼ることなく、これらを自前で調達するシステムが機能しなければならないはずだ。...

■ 民主主義の砦としての図書館

...図書館のミッションは自立支援にある。民主主義を維持し、その中で主権者として生きていくためには市民として「自立」することが必要だ。...
・「図書館のミッションを考える」片山善博(著)『情報の科学と技術』54(4) p168-173(2007)
・「特別企画 地域社会の経営と図書館政策」地方分権・民主主義社会を支える自立支援こそ図書館のミッション(片山善博、糸賀雅晃(対談))『地域を支える公共図書館:図書館による課題解決支援サービスの動向』高度映像情報センター, 2007.3 (AVCCライブラリーレポート2007)p4-15)

37

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ★①自治体と図書館の把握
- ②図書館の現状・課題の把握と分析、課題解決策の検討
- ③図書館のめざすもの
- ④サービス計画(年次)

38

〇〇図書館サービス計画(シート1 自治体)

地域や自治体をよく知る

1 地理的特徴、歴史的特徴

①地理的特徴

当該自治体の地理的特徴の概要を簡潔に記入します。

②歴史的特徴

当該自治体の歴史的特徴の概要を簡潔に記入します。

39

2 人口構造

①人口構成

年齢別人口構成を全国と比較します。

②高齢化率

総人口に占める65歳以上人口の割合

③将来人口

参考:「日本の地域別将来人口」、高齢化率も

④特徴(例:全国、近隣自治体、同規模自治体等との比較)

少子高齢社会の状況を見ます。

40

選択する未来

- 未来への選択ー人口急減・超高齢社会を超えて、日本発 成長・発展モデルを構築ー(平成26年11月経済財政諮問会議 専門調査会「選択する未来」委員会)

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/shiryou.html>

- ・50年後ー1億人程度の安定した人口構造
- ・50年後ー実質GDP成長率1.5~2%維持
- ・東京一極集中の反転、地域の特色を活かした豊かな成長・発展

41

基盤となるのは人材育成:次世代を産み育て、イノベーションを創出し、地域社会を支えるのは「人」

- 人口
 - ・人口急減・超高齢化の克服が最重要の課題
 - ・希望通りに結婚、出産、子育てできる環境の整備
- 経済
 - ・人口減少、高齢化、低成長を乗り越えた日本発の世界に先駆ける成長・発展モデルの構築
 - ・イノベーションにより成長・発展を持続する経済社会
- 地域社会
 - ・東京と地方が補完・交流し、多様性に富んだ社会
 - ・集約・活性化した地域のまちづくり

42

3 産業構造

①産業3分類別就業者の割合

国勢調査

『地域経済総覧』

市区別データに国勢調査の産業別就業人口構成比

第1次	第2次	第3次
%	%	%

②特徴

例: 全国、近隣自治体、同規模自治体との比較

43

4 生活

①労働力人口

国勢調査、『地域経済総覧』

市区別データに国勢調査の労働力人口

②その他(例: 昼夜人口〔通勤〕、交通)

国勢調査、『地域経済総覧』

市区別データに国勢調査の昼間人口、昼夜間人口比率

* 住民ひとり一人がまちでどのように暮らしているのか?

通勤、余暇なども

44

5 財政

①財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

②予算(千円、予算額又は決算額)

一般社予算	教育費	図書館費	資料費	図書館員の一般会社予算に占める割合
-------	-----	------	-----	-------------------

③特徴

45

6 自治体施策

①総合計画、重要施策や取組の特徴

自治体のホームページを参照

自治体の政策

* 総合計画(県、市町村)、施政方針等

* 統計資料

* 重点施策

46

②公共施設等総合管理計画、それに相当するもの(名称、施設関係の特徴)
公共施設等総合管理計画の策定要請 (平成26年4月22日 総務省)
http://www.soumu.go.jp/main_content/000286228.pdf

- ・公共施設等の老朽化対策: 大きな課題
- ・地方公共団体の厳しい財政状況
- ・今後の人口減少等 → 公共施設等の利用需要の変化予想
- ・公共施設等の全体の状況を把握
- ・長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化などの計画的実施
- ・財政負担の軽減・平準化
- ・公共施設等の最適な配置の実現
- ・PPP PFIの活用

47

インフラの老朽化と図書館

- 根本祐二「インフラ老朽化問題の深刻さと図書館への示唆」
『現代の図書館』vol.51,no.2(2013.6)p61-67
- ・危機回避、更新投資・財源、人口減少とインフラの利用減
- ・全域: 広域化、校区: 多機能化、住区: ソフト化
- ・自治体の公共施設マネジメント 計画、事前協議
- ・「財政負担が少なくても質の高いスマートな社会資本を持つ知恵」
- ・省インフラ(コンパクト化、分散化、デリバリー化)、
- ・図書館の建設・維持管理・運営のコストと市民の理解
- 根本祐二『朽ちるインフラ: 忍び寄るもうひとつの危機』
(日本経済新聞出版社 2011.5)
社会資本の更新投資、自治体の老朽化対策

48

7 教育文化

- ①学校数、生涯学習施設数
- ②住民の学習意識(市民意識調査等)

自治体が調査した市民意識調査のようなものがあれば、それを使います。もし適当な既存資料がなければ、印象で記入します。

8 その他

- ①シンボル、キャラクター、ゆかりの人物や産品など特徴のあるもの

49

教育基本法

(教育の目的)

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(生涯学習の理念)

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

50

社会教育法

(国及び地方公共団体の任務)

第三条 国及び地方公共団体は、この法律及び他の法令の定めるところにより、社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら实际生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

- * 井内慶次郎(1924-2007): 社会教育法、図書館法の立法に従事
- * 戸田貞三(1887-1955)『社会教育の隘路』『社会教育』5(2)1950.2p2-8

51

- ひとり一人の個性が開花し、自己実現することにより、その結果として、社会の形成者として社会に貢献することになる。
- 成長の可能性を持つひとり一人の生涯と生活を想起したとき、図書館は、人間の発達段階においてどのような支援ができるのか？
- 例:生涯にわたる豊かな読書生活、生涯学習、さまざまな課題解決支援、個人の創造性の開発、シニアサービス(生涯現役の活躍)

52

エンベテッド・ライブラリアン

- embedded librarians embedded :組み込み
- 「選り取られた情報資料に取り囲まれた図書館に陣取って、図書館にやってくる個々の利用者に対して単発的なサービスを提供するという受動的な図書館のあり方を捨てて、ライブラリアンが利用者コミュニティーのなかに積極的に飛び込み、一緒になって考え、それぞれの図書館の設置母体組織の使命を効果的・効率的に果たそうとするライブラリアン」 山本順一著『図書館概論』(ミネルヴァ書房 2015.5 講座・図書館情報学2) p216-224のうちp218 から

53

反省的実践家としての図書館員

- 司書、教師、看護師といった人の自立を支援する臨床の場にかかわる「反省的実践家」
- 「...現代の複雑な状況を生きるクライアントが直面する問題は複合的であり、専門家は専門分化した自らの領域をこえる課題にクライアントとともに立ち向かって」います。「クライアントの泥沼を引き上げ、クライアントと共に格闘する新しい専門家たち」は、状況との対話にもとづく行為の中の省察によって対処するとしています。

54

- 図書館の成長と苦難・悩み (竹内愷氏のお話し)
- 職員の活力が図書館の原動力
磯野嘉子氏(元浦安市立図書館長, 元千葉経済大学短期大学部助教授)
- 「利用者側から考える司書の活力」と第五法則

55

図書館資源の視点でとらえてみよう

これからの図書館像
http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06032701/009.pdf

図書館の持つ特徴 (「これからの図書館像」から作成)

- 図書館が本来持っている資源
あらゆる主題・分野にわたる資料
資料や情報の検索システム
司書を含む職員
閲覧席, 集会室などのスペース等

56

- 図書館の能力、情報検索能力、情報を整理・体系化して提供する力、集客力等
幼児から高齢者までの全ての人々への公開
- 図書館の付加的な資源
立地条件、土・日曜日・夜間等にわたる開館日・開館時間、名称、雰囲気、地域における認知度等

57

* エキナカ

物語シナリオ
 (時間, 空間, 利用シーン, 人間を物語の中心に据える)
 デザイン思考 (「...感覚や直感と論理や分析を統合し, 総合的に考えよう...」p8)

時間戦略
 (時間帯別の顧客[マーケティング, 物語シナリオ],
 過ごし方, ニーズ)

『進化する東京駅: 街づくりからエキナカ開発まで』(野崎哲夫著 成山堂書店 交通ブックス120 2012.10) 第1章東京駅の新しい街, エキナカ「グランスタ」誕生 p5-13

58

ネーミング

- * 効果的なネーミング:
- 意味(名前にふさわしいか, ユニークか, わかりやすいか, 商標はOKか, 外国語でのイメージなど),
- 音 (清音, 濁音, 拗音などの効果, 母音のイメージ, 音象)
- 表記(ひらがな, カタカナ, 漢字, アルファベット[大/小文字])

飯田朝子『ネーミングがモノを言う: あのヒット商品から「東京スカイツリーまで」』中央大学出版部 2012.10 p185
<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~aiida/>

59

〇〇図書館サービス計画(シート2 図書館)

1 図書館の概要

①沿革の概要(運営上特徴的なこと)

数字ではつかみにくいことや, 現在の運営に影響を与えているような沿革, あるいは, 他の図書館とは異なる特徴的なことを記入します。ここでは, 策定するサービス計画に関したことだけでなく, 全般的な内容を記述します。

②現在の概要

図書館体制, 職員, 蔵書, 利用など

60

2 ○○図書館の経年変化

図書館統計、『日本の図書館』

①経年変化表

項目	職員(専任)	うち司書	非常勤臨時 (委託派遣)	蔵書冊数	受入図書 冊数(購入)	雑誌購入 種数	購入貸出数	予約件数	図書経費	資料費	図書費
平成22年度											
平成23年度											
平成24年度											
平成25年度											
平成26年度											

②特徴

61

■ 職員(専任)

専任職員数、『日本の図書館』では、職員の専任計を記載してください。

■ うち司書

専任職員数のうち司書数、『日本の図書館』では、職員の「うち司書司書補」を記載してください。なお、記載欄が限られ、司書補数は少なく省略しました。

■ 非常勤臨時(委託派遣)

非常勤臨時数を記載してください。また、()に委託派遣数を記載してください。『日本の図書館』では、非常勤臨時(委託派遣)のところがそのまま記載してください。

■ 受入図書冊数(購入)

受入図書冊数の「うち購入」を記載してください。『日本の図書館』では、受入図書冊数欄の「うち購入」部分を記載してください。

62

3 類似自治体の図書館との比較

参考: 図書館統計又は『日本の図書館』の人口、サービス水準等

①比較表

事項	モデル館の○○市	△△市	▽▽市	□□市
人口				
職員(専任)				
うち司書				
非常勤臨時(委託派遣)				
蔵書冊数				
受入図書冊数(購入)				
雑誌購入種数				
購入貸出数				
予約件数				
図書経費				
資料費				
図書費				

人口規模がほぼ同じような自治体や、産業構造などが類似している自治体で、当該自治体よりも図書館のサービスレベルが高いと思われるところを3自治体選びます。

②特徴

63

4 計画、評価、指針

①図書館サービス計画・整備計画、答申、在り方、図書館評価、利用者アンケート等調査

(名称と重要な課題等を簡潔に記載)

②「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」から

◇比較的よく達成できている項目

◆これからの課題と思われる重要な項目

64

③課題解決支援サービス

地域の課題に対応したサービスの取組の状況

- ビジネス情報
- 健康・医療情報
- 法律情報
- 行政支援
- 子育て等

65

地域と自治体

- 地域づくり、まちづくり、地域振興、地域の活性化
- 地域を知ること。例. まち歩き、地域の人に聞く、地元学
- 地域づくりとは何か、地域の拠点としての図書館は何ができるのか。
- 自治体総合施策: 総合計画、重要施策・取組、統計資料
- 人口構成(年齢別人口構成)
- 超高齢社会: 高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)21%超
- 自治体の人口ビジョン、将来人口推計

66

『地方自治と図書館:「知の地域づくり」を地域再生の切り札に』(片山善博、糸賀雅児著 勁草書房 2016.12)

- ・ 第1部 図書館は民主主義の砦(知的立国の基盤としての図書館; 図書館のミッションを考える:民主主義社会における図書館)
- ・ 第2部 地方財政と図書館(講演・図書館と地方自治; パネル討論・地方財政と図書館-交付金で図書館整備を; 光交付金が図書館にもたらしたもの)
- ・ 第3部 地域の課題解決を支援する図書館と司書(まちづくりを支える図書館; 「地域の情報拠点」としての課題解決型図書館; 地方自治を担う図書館専門職のあり方; 「地方創生」の視点から見た図書館と司書)
- ・ 第4部 地方自治と図書館政策(対談・地方自治と図書館政策)

67

- 地方自治, 地域づくり, まちづくり, 地域支援, 地域課題解決
- まちづくり 地域振興 地域の課題解決, 資料・情報提供
- 行政支援, 学校教育支援, ビジネス(地場産業)支援, 子育て支援,
- 観光政策

68

- ・自治体で課題となっているものは何か? まちづくり, 地域支援, 地域連携(連携相手のメリットを勘案すること), 自治体形成への参画, 市民の自立を支援
- ・自治体が住民との協働する中で自治体施策を考えるために必要な資料や情報は何か?

69

公立図書館の任務と目標

『公立図書館の任務と目標解説』日本図書館協会政策特別委員会編 改訂版 日本図書館協会 2004.9.

- ・図書館サービス計画立案の参考資料、指針
- ・数量的な目標あり
- ・図書館の利用 1~8の中から、例えば、
 - 4 自らの住む地域における行政・教育・文化・産業などの課題解決に役立つ資料に接し、情報を得る。
 - 8 人との出会い、語りあい、交流が行われ、地域文化の創造に参画する。

70

- 「創ること
 - ...八日市で図書館をよく利用する人の中に竹製品をつくる職員がいた。そのことに気づいた職員が徐々に竹に関する本をふやしていった。しばらくすると、その人から図書館で自分の作品展を開かないかという提案があって、それを受けるとにしたという。...」
- 『近代図書館の歩み』森耕一著, 第2版. 至誠堂, 1992.4. 「図書館の使命」p275

71

地域の課題解決に対応したサービス課題解決支援サービスの実施(望ましい基準)

- 就職・転職、企業、職業能力開発、日常の仕事等、子育て、教育、若者の自立支援、健康・医療、福祉、法律・司法手続等、地方公共団体の政策決定、行政事務の執行・改善及びこれらに関する理解
- 考える素材の提供、調べもの
- 連携(機関、団体、ひと)、受身から出前へ
- 地域の活性化に貢献、資料費の増額の根拠に

72

公立図書館における課題解決支援サービスに関する実態調査報告書(全国公共図書館協議会)

- 2014年度 (2015.3)
課題解決支援サービス全般、ビジネス情報、健康・医療情報、法律情報、行政支援
- 2015年度 (2016.3)
課題解決支援サービス全般、市町村立図書館、都道府県立図書館10事例、まとめと提言
ビジネス情報、就業支援、漁業支援、農業支援、観光情報、まちづくり、消費生活、法律情報、行政支援、学校支援、家庭教育、妊娠出産、子育て、健康・医療情報、終活高齢者支援、防災、東日本大震災、原子力関連

73

地域創生

- まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)
- 地域特性に応じた課題解決
- 日常生活・社会生活を営む基盤サービス
- 結婚、出産・育児の希望を持てる社会
- 仕事と生活の調和を図れる環境整備
- 地域の特性を生かした創業促進、事業活動の活性化、魅力ある就業機会の創出

74

まち・ひと・しごと創生長期ビジョン
—国民の「認識の共有」と「未来への選択」を目指して—
(平成26年12月27日)

- ・ 各地方の独自性、潜在力
- ・ 将来の成長・発展の種:地域資源の掘り起こしと活用
- ・ 地域の「あるもの」探し、「ないもの」チャンス、チャレンジ
- ・ 地方の自主性・自立性、分権型社会の確立
- ・ 都市部から地方へのひとの流れ:外部の人材を取込み
- まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成26年12月27日)
- ◆ 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則
(1)自立性、(2)将来性、(3)地域性、(4)直接性
(5)結果重視

75

まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成26年12月27日

「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

(1)自立性

各施策が一過性の対症療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるようなものであるようにする。また、この観点から、特に地域内外の有用な人材の積極的な確保・育成を急ぐ。

76

- 施策の効果が特定の地域・地方、あるいはそこに属する企業・個人に直接利するものであり、国の支援がなくても地域・地方の事業が継続する状態を目指し、これに資するような具体的な工夫がなされていること。
- 施策の内容検討や実施において、問題となる事象の発生原因や構造的な背景を抽出し、これまでの施策についての課題を分析した上で、問題となっている事象への対症療法的な対応のみならず、問題発生の原因に対する取組を含んでいなければならない。

77

(2)将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。活力ある地域産業の維持・創出、中山間地域等において地域の絆の中で心豊かに生活できる環境を実現する仕組み等も含まれる。

78

(3) 地域性

国による画一的手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「地方版総合戦略」という。)を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。国は、支援の受け手側の視点に立って人的側面を含めた支援を行う。

79

地方創生

- 起業促進
- 高齢者活用
- 若者活用
- 観光客誘致
- 移住促進
- 働き方革新
- 産業振興
- オープンデータ
- ローカルメディア

トーマツベンチャーサポート株式会社、日経トップリーダー著『地方創生実現ハンドブック』日経BP社 2015.11

80

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

- 文化プログラム
- ロンドンの場合: MLA(博物館・図書館・文書館国家協議会等)パートナーシップ
- ・ 博物館: 国際展覧会プログラム
- ・ 文書館: 人々の記録、競技大会の記録
- ・ 図書館: 文学・ストーリーテリング: 若者文芸創作、読書イベント、情報ハブ
- ・ 「ロンドンオリンピックの文化プログラム: 博物館・図書館・文書館の取組み」福井 千衣 『カレントアウェアネス』320 p10-13(2014.6)から引用

81

政策法務

地方自治体独自の施策の構築や法の解釈についても、地方自治体がその判断と責任において行うことが求められている。法の隙間から生ずる様々な事象についても、地方自治体が現場における必要性を踏まえて対応することが求められている。地方自治体は、共通の課題を抱えた他の公共団体と連携し、情報を交換するとともに、地方自治体がより住民に近い存在として住民と協働する中で、自ら施策を考えることが必要になっている。(要約)

鎌水三千男〔著〕「政策法務研修の現状と課題」『ジュリスト』no.1338(2007.7.15)p145-146.

82

地域の創生・活性化のために図書館が役立つ施策

- ビジネス支援、創業支援、雇用創出、地元生産物支援、地域おこし、小さな拠点形成(多世代交流・多機能型交流拠点)と生涯学習の活用、子育て支援、高齢者支援、健康長寿、市民活動支援、地域と学校との連携
- 図書館実践事例集: 人・まち・社会を育む情報拠点を目指して
- ・ 全国各地の図書館の特徴的な取組事例
- ・ 図書館が一層の機能強化に向けたアクションを起こす際の参考
- ・ 連携、様々な利用者へのサービス、課題解決支援、まちづくり、建築・空間づくり、電子図書館、その他

83

ビジネス支援

- 就業・就職、起業、観光、地場産業
- 統計・年鑑・白書、『中小企業白書』
- 企業情報、会社情報、業種・業界情報
- 新聞データベース
- パンフレット、ちらし
- 講演、相談、中小企業診断士
- 研修

84

健康・医療

- 健康医療情報コーナー、健康情報棚、闘病記文庫、からだといのちの図書コーナー
- 資料（一般書、医学専門書、闘病記、患者会資料、医学文献、健康雑誌等）
- 患者や家族、市民等
- サービスの方針、範囲
- インフォームドコンセント、インフォームドチョイス
- 『闘病記文庫入門：医療情報資源としての闘病記の提供方法』（石井保志著 日本図書館協会 2011 JLA図書館実践シリーズ 17）

85

- 健康管理の関連講演・イベント
- パンフレット・ちらし
- 日本図書館協会健康情報委員会
協会ホームページに資料等を掲載
- 全国患者図書サービス連絡会
入院中でも本による教養・娯楽書による楽しみを届ける
- 『やってみよう図書館での医療・健康情報サービス』（第3版 日本医学図書館協会 2017）

86

- 都道府県立図書館と市区町村立図書館の連携
- 公共図書館と医学図書館との連携
図書館連携による健康支援事業めりーらいん
- 患者図書室、医学図書館・看護図書館、病院図書室
- 支援機関との連携：がん相談支援センターほか
- 診療ガイドライン：Mindsガイドラインライブラリ、東邦大学・医中誌 診療ガイドライン検索データベース
- PubMed：誰でも無料で見られる医学文献データベース

87

地方創生と図書館、図書購入費の増額

例示 地域総合計画に図書館施策を（要望）
各政党 地方創生政策担当宛ての公益社団法人日本図書館協会と一般社団法人日本書籍出版協会の要望についての事例

1. 地域総合計画の中に図書館施策を

図書館は、市民が身近に設置してほしいと願っている社会インフラであり、市民の日常生活に不可欠な情報発信基地として、コミュニティの中核拠点として、産業発展の中継拠点として、地方創生に不可欠な役割を果たしております。貴職におかれましては、図書館が地方創生に大きな役割を果たす力を持っていることに鑑み、是非とも、まち・ひと・しごと地方創生に資するよう、地域総合計画において図書館の整備充実をご推進いただくようお願いいたします。

2. 公立図書館・学校図書館における図書購入費の増額を

88

「自治体総合計画等における図書館政策の位置づけ」についてのアンケート（日本図書館協会）

- アンケート回答数：1,049（図書館設置自治体数1,361の77%）
- まちづくりや地域振興に役立つ目的で事業を行っている図書館：497自治体（47%）
- 事業数：597
- まちづくり事業（39%）
- ひとづくり事業（51%）
- しごとづくり事業（10%）
- 農業振興支援
- ビジネス支援
- 絵本でまちづくり
- まちなか連携事業など

89

「地域の図書館サービス充実支援事業」に関する調査結果報告書

- 全国各地で直面している様々な課題に応じた15館の図書館サービスの実践・向上に資する資料を収載
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/houkou/1282544.htm

市民に身近なサービス、次世代育成、農業支援、地域・市民協働、緩和ケア、多文化・多言語、ジュニアライブラリアン、団塊世代仕事録、ヤングアダルトサービス、市民力・行政力向上、知識創造、高齢・過疎の島、歴史、図書館を活用した夢実現、読書ボランティア、リーフレット・ブックトーク

90

地域活性化志向の公共図書館における経営に関する調査研究

図書館調査研究レポート No.15
国立国会図書館関西館図書館協力課 2014.3
http://current.ndl.go.jp/files/report/no15/lis_rr_15.pdf

紫波町図書館(農業支援)
東松島市図書館(ICT 地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ事業」)
田原市中央図書館(高齢者福祉施設訪問サービス「元気はいたつ便」)
東近江市立八日市図書館(リトルプレス「そこら」の作成)
アメリカ・ピッツバーグ・カーネギー図書館におけるティーン向けのサービスと受刑者に対するサービス

91

- 防災
 - ・ 古い地図・地形図、ハザードマップ
 - ・ 台地、地質、地形、人工地盤、河川や海
- 社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)
 - ・ 信頼 地域への信頼
 - ・ 社会参加 地域活動への参加・協力
 - ・ つきあい・交流 地域のネットワーク
 - ・ 海野進著『人口減少時代の地域経営』同友社 2014.3 p92、94

92

- 社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)
「特集:社会関係資本と図書館・情報サービス:地域・社会とのつながり力」

『現代の図書館』201号 50(1) 2012.3
嶋田学:瀬戸内市新図書館準備(元東近江市立図書館)持ち寄り 見つけ 分け合う 広場
住民参加により、住民の意見、ニーズをワークショップにより聴取し、図書館整備に生かす。

93

地域活性化

- 地域経済活性化(経済的効果)
 - ・ 所得の増加
 - ・ 雇用の増加
 - ・ 人口の増加
- 地域交流活性化(非経済的効果)
 - ・ 交流の増加
 - ・ 親密さの向上
 - ・ 教育水準の向上

榎並利博著『地域イノベーション成功の本質』第一法規 2013.2 p27

94

地域活性化戦略

- 小長谷一之[ほか]著『地域活性化戦略』晃洋書房 2012.3 p3-6
大阪市立大学大学院創造都市研究科教授
- 地域活性化と「まちづくり・地域づくりの条件」
- 地元組織がしっかりしていること
 - 隣町と違うことをやっていること
 - 顧客志向で、独りよがりでないこと

95

地域価値

- 地域価値に気づく
- 地域価値と自分達の間を認識する
- 地域価値を増大させる

↓

- 景観まちづくり
- まちの履歴書をつくる
- 基礎データ

井上正良、長瀬光市著『人を呼び込むまちづくり:魅力的景観を生み出す5つの技法』ぎょうせい 2013 p10-12、54-55

96

- 大下茂著『行ってみたい！と思わせる「集客まちづくり」の技術』学陽書房 2011.2

目次

- ・ 知る:集客が地域にもたらすもの
- ・ 診る:自分の地域の診断の仕方
- ・ 気づく:地域資源のみつけ方・探し方
- ・ 構える:構想・プランの描き方
- ・ 企てる:集客商品のつくり方・書き方・売り込み方
- ・ 広げる:地域の魅力を維持し続ける方法
- ・ 動かす:まちづくりの組織のつくり方

97

- 『シティブロモーションでまちを変える』(河井孝仁著 彩流社 2016.12 フィギュール彩)
- ・ 「地域(まち)に真剣(マジ)になる人を増やすしくみ」p9
- ・ 流山市、酒々井町、四街道市
- 『ソーシャルネットワーク時代の自治体広報』(河井孝仁編著 ぎょうせい 2016.12)
- 千葉市「ちばレポ」、流山市「そのママでいこうproject」、千葉県「チーバくん」、四街道市「ドラマチック四街道」

98

例 日野市立図書館 日野宿発見隊

- まちの中へ図書館を
地域住民に役に立つ図書館でありたい！
そんな思いから本を並べて待っているだけでなく、外へでよう、まちをみつめ直そう、と「日野宿発見隊」を結成しました。

99

例 武蔵野プレイス

- 人々が日常生活において、自主・自発的に読書や学習を継続できる機会や、身近で行われているさまざまな「市民活動」や「アクション」に気軽に触れることができる場が重要です。武蔵野プレイスは、この“気づき”から始まる「アクションの連鎖」が起こり得る「機会」と「場」を提供し、支援していくことをめざしています。

100

- 図書館...等、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報(知識や経験)を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会(まち)の活性化を深められるような活動支援型の公共施設をめざしています。

101

豊橋市 まちなか図書館整備

- 気軽に立ち寄れ、市民が主体となって活動する新しいスタイルの図書館を目指す
- 基本理念:
世界を広げ、まちづくりに繋げる
“知と交流の創造拠点”
- ・ 図書館整備:市民とともにつくる
- ・ まちなか図書館情報紙「ビブリガーレ」

102

まちなか図書館(仮称)が目指すもの

- 図書館の基本的な機能を押さえつつ、まちなかにこそ求められる機能を担う
「発見する」「学ぶ」「集う」「交流する」「くつろぐ」の5つの機能を有機的に連携、「訪れてみたい」なり、「まち”や”人”に焦点を当てた「役に立つ」魅力的なサービスを展開します。
- 新たな情報や人との出会いを創出し、まちづくりに寄与する人材を育成する
情報や「知」に触れ、人と出会い「交流」することにより自らの世界を広げ創造する人を育て、市民主体の活動に繋がる場、市民の「サードプレイス」として整備します。

103

ひとの一生

- 赤ちゃん
- 子ども
- 学生、若者
- 大人、成人、社会人
- お年寄り、老人
- 障害者
- 外国人

104

④利用者に対応したサービスの概況

- 児童・青少年
- 高齢者
- 障害者
- 乳幼児とその保護者
- 外国人等図書館への来館が困難な者

⑤子どもの読書活動推進計画の取組

105

第2期教育振興基本計画 (平成25年6月14日閣議決定)

- 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進:学校、公民館、図書館
- 子どもの読書活動の推進:公共図書館と学校の連携の推進
- 若者の自律・社会参画支援などの取組:地域の公民館、図書館等
- 家庭教育支援:公民館、図書館等 学習機会の提供
- 学校図書館図書整備5か年計画

106

子供の読書活動の推進

- 児童・青少年(望ましい基準)
児童・青少年用図書の整備・提供、読み聞かせ等の実施、講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携
- 第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画
・ 概ね5年間
・ 市町村計画の策定の割合:市:100%に、町村:70%以上に(平成29年度までに)
・ 不読率の改善:1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を10年間で半減
・ 子どもの読書活動の推進のための図書館の機能強化

107

- ゲーム、漫画、スマートフォン普及の状況におけるエンターテインメント性と純文学の両側面を持った作品の登場
・ 例 :住野よる『君の膵臓をたべたい』
・ 埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2015
・ 「2016年本屋大賞」2位 ほか
- スマートフォンを活用した図書の紹介、読書イベントの紹介

108

肝心なのは人

- 児童図書館員 重要な機能を担う“人”の問題
松岡享子著『子どもと本』(岩波書店 2015 岩波新書(新赤版)1533)p236-242
- すべての子どもに開かれた図書館
- 「いちばん読書を必要とする小学生、中学生、高校生が自由に利用できるのが学校図書館」
肥田美代子著『本』と生きる』(ポプラ社 2014.12 ポプラ新書048)p194-197
- 学校図書館の学校司書本等の刊行
高橋恵美子『学校司書という仕事』、木下通子『読みたい心に火をつける!』、成田康子『高校図書館』、東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本300』、松田ユリ子『出版ニュース』連載記事、論文等

109

読書活動

- 『読書教育への招待 確かな学力と豊かな心を育てるために』(国立教育政策研究所編 東洋館出版社 2010)
- 読書教育の研究、教育的効果、生涯読書
- 児童図書館:選書、蔵書構成、各種資料の特色と評価等
赤星隆子、荒井智子編著『児童図書館サービス論』理想社 2010
- 読書会、ビブリオバトル
- 特別支援学校の読み聞かせ活動

「特別支援学校での読み聞かせ 都立多摩図書館の実践から」
(東京都子供読書活動推進資料)

http://www.library.metro.tokyo.jp/reference/tama_library/va/school_support/tabid/651/Default.aspx#tokubetuesien

110

- 『「子どもの読書活動と人材育成に関する調査研究」【青少年調査ワーキンググループ】報告書』

(国立青少年教育振興機構2013.6)

- http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/81/
「現在の意識・能力に関する質問」:「自己肯定感」、「未来志向」、「社会性」、「意欲・関心」、「文化的作法」、「市民性」及び「論理的思考」
- 子どもの頃読書活動が多かった回答者は「現在の意識・能力に関する質問」に対しても肯定的な回答をする者の比率が高かった。

111

「人の、地域の、日本の未来を育てる読書環境の実現のために」

(平成23年9月 国民の読書推進に関する協力者会議)
司書や司書教諭等の読書に関する専門的職員を充実する

読書環境プラン、読書シビルミニマム

例 中学校区を単位、学校図書館や図書館、公民館、書店など

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/09/_icsFiles/afieldfile/2011/09/02/1310715_1_1.pdf

112

古典の日

<http://www.kotennohi.jp/>

古典の日に関する法律 平成24年9月5日公布・施行 11月1日

<http://www.kotennohi.jp/statute.html>

古典に親しむ機会を増やす。

*「古典」:

文学、音楽、美術、演劇、伝統芸能、演芸、生活文化その他の文化芸術、学術又は思想の分野における古来の文化的所産であって、我が国において創造され、又は継承され、国民に多くの恵沢をもたらすものとして、優れた価値を有すると認められるに至ったもの

113

和本

- リテラシー保持者:四、五千人ぐらい? 変体仮名と草書体漢字
- 『江戸文化再考:これからの近代を創るために』(中野三敏著 笠間書房 2012.7)「和本リテラシーの回復:その必要性」p[167]-223

114

シニア世代と図書館

- 呑海沙織「高齢社会における図書館サービス：サード・エイジと図書館」『図書館雑誌』vol.108,no.5 から
サード・エイジ：自己達成の時期、「生活者・活動者」イメージの傾向が強い高齢者
- 「高齢社会のあるべき姿に関する意識調査報告書」(経済広報センター 2012) <http://www.kkc.or.jp/data/release/00000080-1.pdf>
・高齢者になったときに利用したい施設等 3位「図書館」(75%)
・高齢者になったときに自宅の近くにあった方がよい施設 4位「図書館」(65%)

115

『超高齢社会と図書館～生きがいづくりから認知症支援まで～』

- 国立国会図書館関西館図書館協力課 編 国立国会図書館 2017 図書館調査研究レポート no. 16
- 高齢者サービスの先進的事例の現地調査・インタビュー調査、高齢者の図書館サービスへのニーズを明らかにするための居住する高齢者へのインタビュー調査
- 図書館サービスにおける高齢者の位置づけの変遷
- 超高齢社会における図書館サービスの課題とこれから
- サード・エイジ：超高齢社会を支える高齢者と図書館
- 生涯学習拠点としての図書館
- フォース・エイジ：認知症と図書館

116

超高齢社会の課題解決

- 『シニアが輝く日本の未来』(三菱総合研究所編著 小宮山宏 編集顧問 丸善出版 2013.11 三菱総研の総合未来読本 Phronesis「フロネシス」10) http://www.mri.co.jp/opinion/magazine/phronesis_10.html
- 高齢社会への挑戦
- プラチナ社会
- シニアの活躍(自己実現、認め合う、つながり)p93
- 住まい、学び、就労・趣味、健康 p113
- 一人ひとりの嗜好：多様なライフスタイル p120

117

都市部

- * 2030年 東京都区部の高齢者の急増(元気な高齢者、要介護認定者)→シニアシフトと街づくり→医療、介護、もう一つの居場所づくり
- 西尾茂紀著「2030年の東京シニアシフトの街づくり」『地域開発』vol.582(2013.3) 特集：都心回帰 p10-15
- 西尾氏：森記念財団都市 整備研究所首席研究員

高齢者の日常生活圏にある地域コミュニティの拠点としての図書館

118

- 後期高齢者の増加
- 医療費の増大
- 医療・介護サービスの需要と供給
 - ・ 医師、看護師、訪問看護師、介護士
 - ・ 医療機関、介護施設
- 公共図書館における健康・医療情報サービスの実施状況の調査」報告 (日本図書館協会健康情報委員会) <http://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/kenkou/>「公共図書館における健康情報の実施状況の調査」報告について.pdf

119

- * シンガポールLibrary2010 http://www.nlb.gov.sg/Corporate.portal?_nfnb=true&_pageLabel=Corporate_portal_page_publications&node=corporate%2FPublications%2F2010&commonBrudCrum=Library+2010+Report&corpCareerNLBParam=Library+2010+Report
- ライフステージに応じた図書館サービス戦略
- 利用者(子ども・青少年、高齢者、成人、ビジネス・政府)
- 高齢者SENIOR CITIZENS OUTCOME:SELF RELIANCE
 - ・ mental stimulation
 - ・ social engagement
 - ・ productive leisure
 - ・ higher technical competency
- 成果：自己信頼(精神的刺激、社会との関係性構築、生産的余暇、高度な専門的能力)
- 『高齢社会につなぐ図書館の役割：高齢者の知的欲求と余暇を受け入れる試み』(溝上智恵子[ほか]編著 学文社 2012.9) 第2章「高齢者サービスを考える」(呑海沙織)：p34-35
- シンガポールの利用者セグメンテーションp34-35
- アクティブ・シニア：8割、活動的、能動的、積極的

120

*「長寿社会における生涯学習の在り方について ～人生100年 いくつになっても 学ぶ幸せ「幸齢社会」～」
 (平成24年3月 超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会)
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/03/1318903.htm
 健康で、生きがいをもった高齢期を迎えるためには、人生100年時代(100歳まで生きることが可能となった時代)を想定した人生設計を行うことが必要。

121

* 秋田県読書推進基本計画: 子どもに夢を与え、県民が人生を豊かに生きるための読書活動推進 秋田県、秋田県教育委員会 平成23年3月
<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1300343870937/files/kihonkeikaku.pdf>
 ・秋田県民の読書活動の推進に関する条例(秋田県条例第25号 平成22年4月施行)
 ・公立図書館等での高齢者コーナーの充実や高齢者が関心をもつセミナーの開催等を通して、高齢者が読書に親しむための環境づくりに努めます。
 ・高齢者が読みやすい大活字本や音声図書資料の確保に努めます。

122

- 江澤和雄「超高齢社会」における高齢者の学習支援の課題』『レファレンス』751号(2013. 8)
http://dl.ndl.go.jp/view/download/diqidepo_8276393_po_075101.pdf?contentNo=1
- 「老いともなうハンディキャップへの配慮・対処という側面と、年をとったがゆえに開けてくる知見への敬意とその活用化という側面」p33 *堀薫夫氏
- 堀薫夫(ほり しげお)教授の研究:生涯教育の視点から、老人の生涯発達、自己実現

123

- 『日本再興戦略』改訂2016—第4次産業革命に向けて—」閣議決定(平成28年6月2日)
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/2016_zentaihombun.pdf
 世界最先端の健康立国へ
- 地域包括ケアシステム
 - ・暮らしの場と保健・医療・福祉をつなぐ
 - ・日本看護協会「看護の将来ビジョン」
- 「まちの保健室」: 図書館で開催

124

- 認知症と図書館
- 『認知症にやさしい図書館ガイドライン』(超高齢社会と図書館研究会)第1版案 から (呑海沙織教授)
- ・ 図書館が地域包括ケアシステムにおいて連携・協力、認知症にやさしい地域を支える、認知症の人や家族への資料や情報の提供、サービスの提供、過ごしやすい空間、社会参加や生きがい創出の手助け
- 回想法、音読、読書会、朗読会
 認知症の予防・進行抑制

125

乳幼児サービス(望ましい基準)

- 乳幼児向けの図書及び関連する資料・情報の整備・提供、
- 読み聞かせの支援、
- 講座・展示会の実施、
- 託児サービスの実施
 - ・ブックスタート:乳幼児の健診
 - ・保健事業や子育て支援事業との連携

126

障害者

- 平成27年4月1日「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)
- 障害者サービスについての利用相談の窓口
- 「図書館利用における障害者差別の解消に関する宣言」(2015年12月18日 日本図書館協会)
- 障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)が、その第二十一条で締約国に「障害者に対し、様々な種類の障害に相応した利用しやすい様式及び機器により、適時に、かつ、追加の費用を

127

伴わず、一般公衆向けの情報を提供すること」を求めていることに特に留意するとともに、障害者との意思疎通に努め、

- 全国のすべての図書館と図書館職員が、合理的配慮の提供と必要な環境整備とを通じて、図書館利用における障害者差別の解消に、利用者と手を携えて取り組むこと。

128

佐藤聖一著『1からわかる図書館の障害者サービス:誰もが使える図書館を目指して』(学文社 2015.2)

第8章 障害者サービスを始めるために—PR方法 から

- 1 準備
 - 障害者サービスの理念や方法を学ぶ
 - 自館の状況を把握する
 - 地域・利用者の状況を把握する
 - 必要な法規、規則等を集める
 - 実施のための具体的技術を習得する
- 2 障害者サービスの実施計画を作る
 - 障害者サービスのプログラムを作成する

129

- 年次計画を作成する
- 障害者サービスの規則、要綱等の整備
- 利用案内の作成
- 3 障害者サービスのPR
 - 口コミサービスの質が問われる「一度来た利用者を逃さない」
 - 図書館ウェブページ、障害者利用案内、障害者用資料目録、ポスター、チラシ
 - 直接PR
 - 自治体内、福祉関係者への周知
 - 障害者や家族を対象とした催し物の開催

130

サピエ

- 日本点字図書館、全国視覚障害者情報提供施設協会
- 点字データ、音声デジータデータをパソコンや携帯電話によりダウンロード
- 各館所蔵の膨大な資料のオンラインリクエストなどによる利用
- 点字・録音図書の書誌情報
- 「オンラインリクエスト」の利用:自宅から点字図書や録音図書の貸出しを図書館に依頼し、図書館側の処理も簡単に

131

多文化サービス 外国人等図書館への来館が困難な者

- 外国語による利用案内の作成・頒布
- 外国語資料や各国事情に関する資料の整備・提供
 - 将来人口の減少、生産年齢人口の減少、外国人の増加、定住化、留学生、移民受入
- 日本に来た移民に対しての配慮 子どもの読書、母語と日本語、職業、教育、労働、住宅、自治体、防災
- 多文化共生まちづくりと地域活性化
- 『多文化サービス入門』(日本図書館協会多文化サービス研究委員会)
- 『多文化サービス実態調査2015報告書』(日本図書館協会多文化サービス委員会編 日本図書館協会 2017.3)

132

情報サービス(望ましい基準)

- インターネット等や商用データベース等の活用
- 利用者の求めに応じ、資料の提供・紹介及び情報の提示等を行うレファレンスサービスの充実・高度化
- 図書館の利用案内、テーマ別の資料案内、資料検索システムの供用等のサービス
- インターネット等の利用により外部の情報にアクセスできる環境の提供
- 利用者の求めに応じ、求める資料・情報にアクセスできる地域内外の機関等を紹介するレファレンスサービスの実施

133

パスファインダー

- あるテーマや話題について資料や情報を探したいときの参考に、手始めとなる基本資料の一部や、調べ方を紹介した手引きです。適切なキーワードを選択し、資料の特長を理解しておくことで、調べものがより効率的に進められます。

パスファインダーバンク

- 私立大学図書館協会企画広報研究分科会
- ◆ 作成マニュアル、雛形(カスタマイズフリー)

http://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

134

レファレンス協同データベース

- 国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース
- 国立国会図書館のデジタル化資料の図書館等への送信
図書館送信の対象資料:国会図書館の館内限定提供のもので、絶版その他一般に入手困難な資料の中から、出版者や著作権者からの申し出による除外手続き資料を除いたもの。 閲覧、複写サービス

135

ICT(情報通信技術)の発展と図書館

- スマートフォン、タブレット、パソコン、インターネットの普及、検索エンジンによる検索行動の一般化
- オンライン書店や図書館の本の検索が便利に
- 電子書籍、新聞のデジタル化の普及
- 図書館のモバイルファーストへの対応
- スマートフォンへの対応
- 利用者の情報探索行動に沿うように、図書館の側から情報提供やサービスを組み込み、資料や情報につなげる。
- 世界最先端IT 国家創造宣言(平成27年6月30日閣議決定 変更)
- オープンデータの利活用、マイナンバー制度

136

情報機器の所有・利用状況 スマートフォン

「家にあり、自分も利用している」全体: 44.7%

性・年代別

20代男性: 72.3%、20代女性: 82.6%

30代男性: 66.7%、30代女性: 67.6%

40代男性: 59.8%、40代女性: 48.1%

職業別

生徒・学生: 75.3%、被雇用者(パート含む): 60.0%

「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」(国立国会図書館関西館図書館協力課 国立国会図書館2015-03-31) 集計レポート Q14.9

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9111358> オンライン調査による から

137

ランガナン博士の図書館学の五法則

- 1 本は利用するためのものである。
- 2 いずれの人にもすべて、その人の本を。
- 3 いずれの本にもすべて、その読者を。
- 4 読者の時間を節約せよ。
- 5 図書館は成長する有機体である。

五法則の基盤: すべての人に教育を

教育: 人の成熟や成長への援助

*『図書館の歩む道 ランガナン博士の五法則に学ぶ』(ランガナン[著]竹内慈解説 日本図書館協会 2010.4 JLA図書館実践シリーズ)15)p17-20

138

図書館学の五法則の再解釈

E1611 - 時代は変わり順序も変わる:『図書館学の五法則』再解釈の試み (カレントアウェアネス-E No.267 2014.09.25 宮城教育大学附属図書館・吉植庄栄)の引用

新・第一法則: Save the time of the reader.
解釈: Embed library systems and services into users' existing workflows. 図書館システムとサービスを利用者の実際の情報行動に組み込め。

新・第二法則: Every reader his or her book.
解釈: Know your community and its needs. 所属するコミュニティとそのニーズを知れ。

新・第三法則: Books are for use.
解釈: Develop the physical and technical infrastructure needed to deliver physical and digital materials. 紙媒体や電子資料を提供する物理的、技術的なインフラを発展させよ。

新・第四法則: Every book its reader.
解釈: Increase the discoverability, access and use of resources within users' existing workflows. 情報行動の中で資料を発見しやすく、入手しやすく、使いやすくせよ。

第五法則: 現代でも通じるもの、変更も再解釈もない。

139

- 「現代の人々の情報行動の中で図書館は小さな部分に過ぎないことを指摘し、もう一段深い解釈をすることを提唱している。利用者の自然な情報行動に図書館や図書館サービスが組み込まれ、情報行動がさらに効率的に、シームレスに、時間をかけずに行われるようにしなければならないと主張しているのである。」 出典: 同上

140

SNS

- ソーシャル・ネットワーキング・サービス
Twitter、Facebook、Lineの利用
- 各自治体における取組への考え方により状況が異なる。
- 図書館での活用: 運用方針
- 目的、内容、返信への対応(例 返信はしない等)、注意事項や留意事項、免責事項等

141

電子書籍

- 課題
 - ・電子書籍サービスへの関心、紙媒体と電子書籍のサービス・著作権、電子書籍のサービスモデル、電子書籍の契約、条件、価格、著作権、アクセスビリティ、長期保存、利用者プライバシー
 - 電子書籍や電子化された資料を提供しているか、予定はあるか
 - ・提供している 389 15.8%
 - ・提供していない 1,718 70.0%
 - ・提供予定である 125 5.1%
- 平成27年度「生涯学習施策に関する調査研究」「公立図書館の実態に関する調査研究」報告書(図書館流通センター 2016.3 文部科学省委託研究)p68

142

政府刊行物 民主主義社会を支える

- Informed citizenの形成
国の施策や活動などについて、その判断材料となる情報を十分にもっている、あるいは十分に提供されている国民

高山正也 平野英俊編『図書館情報資源概論』(樹村房 2012 p60)

143

世界最先端IT 国家創造宣言

- 世界最先端IT 国家創造宣言について
(平成27年6月30日閣議決定 変更)
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20150630/siryou1.pdf>
 - ・オープンデータの利活用
データカタログサイト「DATA.GO.JP」を本格稼働
各府省庁等からの13,038件のデータセット収録
 - ・マイナンバー制度
 - ・個人情報保護を図りつつ、パーソナルデータの利活用を推進するための基盤(「個人情報保護法」)

144

オープンデータの取組

- <http://www.data.go.jp/>
- 政府標準利用規約
 - ・ 出典の記載
 - ・ 第三者の権利を侵害しない
 - ・ 法令、条例又は公序良俗に反する利用や国家・国民の安全に脅威を与える利用は禁止
 - ・ 個別法令による利用の制約
- ◆ 米国の著作権法では、国の著作物は著作権法の対象から除外されている。

145

- オープンデータを用いたレファレンスサービス
- オープンデータの公開
- 住民のオープンデータ作成支援(資料の裏付け調べものの支援 例Wikipediaタウン)
参考: CA1825 - オープンデータと図書館 / 大向一輝
<http://current.ndl.go.jp/ca1825>
- 『角川日本地名大辞典 12 千葉県』
- 『日本歴史地名大系 12 千葉県の地名』平凡社

146

- 神奈川県行政資料アーカイブ(神奈川県立図書館HP) 県のウェブサイトで公表の統計書、年報等(行政資料)の電子ファイル、統計データ等を提供するサイト

http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/data_catalog/

147

例 調布市立図書館 まちの資料情報館

- 人々の暮らしの歴史をテーマにそって市民自らが調査し、発信する仕組み
- 地域情報化の拠点として、調布の記録を残し発信する取組
- 市民の手による地域情報の収集と提供
- 調布の情報を集め、ホームページ発信
- 市民ボランティアの協力員

148

電子書籍

- ・ 図書館に行かなくても使える
例 自宅・職場、雨雪、遠距離、夜間、障害者、高齢者
- ・ 開館時間でなくても、いつでも使える
例 夜帰宅後、休日
- ・ 貸出・返却が簡単、便利な機能
- ・ 保存スペースが不要

149

平成27年度「生涯学習施策に関する調査研究」「公立図書館の実態に関する調査研究」報告書(図書館流通センター2016.3 文部科学省委託研究)p68

- 電子書籍や電子化された資料を提供しているか、予定はあるか
- ・ 提供している389 15.8%
- ・ 提供していない1,718 70.0%
- ・ 提供予定である125 5.1%
- http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/chousa/_icsFiles/fieldfile/2016/09/26/1377547_04.pdf

150

- IFLA 図書館の電子書籍貸出 (eLending) のための原則 (和訳) (2013年10月国立国会図書館)
http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/data/pdf/ifla_elending.pdf
- 電子書籍の利用契約・購入の権利
- 合理的な条件と公正な価格
- 図書館の著作権の制限・例外
- アクセスビリティの基準
- 長期保存の保証
- 利用者のプライバシー保護

151

参考: 間柴泰治 [著] 電子書籍を活用した図書館サービスに係る法的論点の整理 (CA1816) 『カレントアウェアネス』no.319(2014.3 p14-16)

- 紙書籍を活用した図書館サービスと著作権の関係
 - 電子書籍を活用した図書館サービスと著作権の関係
 - 電子書籍サービスをめぐる論点と対応
- * 「今後より良い電子書籍サービスを構築していくためには、著作者・出版社・図書館・利用者等の当事者が相互に協力し、すべての当事者にとって合理的なサービスモデルを模索していく必要がある。」
→ 図書館側も、電子書籍サービスへの強い関心を持ち、積極的に提案を行うこと

152

- 電子書籍貸出サービスの導入図書館 (2015年) 54館
 - 国立国会図書館送信資料 (53% 420館)
 - 自治体広報資料 (66% 363館)
 - 電子書籍 商用 (42% 334館)
 - 自館オリジナル (34% 267館)
 - 著作権切れ (31% 242館)
 - 文芸書56%、実用書47%、図鑑年鑑42%、ビジネス書4%
- 『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告書2015』
植村八潮 野口武悟編著 電子出版制作・流通協議会著 ポット出版 2015.11) 引用

153

- 池内淳「公共図書館における電子書籍サービス」『情報の科学と技術』67(1)p25-29
- 出版界と図書館界との関係
- 都道府県立図書館の役割
- 植村八潮「“電子書籍”の市場拡大と概念拡張」『情報の科学と技術』67(1)p2-7
- 電子書籍とは
- 電子図書館サービス 53館 (2016.10)
- 『ポストデジタル時代の公共図書館 = POST DIGITAL PUBLIC LIBRARY』(植村八潮 柳与志夫 編 勉誠出版2017)

154

米国

- 公共図書館: 95%が電子書籍を提供
 - 電子書籍コレクション
 - フィクション: 74%、ノンフィクション: 26%
- 紙媒体 フィクション: 57%、ノンフィクション: 43%
- 「米国では9割以上の公共図書館が電子書籍を提供: 米国の公共図書館の電子書籍の利用状況調査の2014年版が刊行」(カレントアウェアネス・ポータル2014年10月31日) から引用
- 電子書籍の売上の割合: 22% (出版社の売り上げ全体に占める割合)
- 電子書籍市場が紙書籍市場に取って代わるという予想が外れてしまっている。高木利弘『電子書籍ビジネス調査報告書2015』を分析する
『出版ニュース』2015.9.p10-13 海外動向の注目点から

155

⑦連携の状況 例:

- 学校
- 博物館
- 公民館
- 自治体各部署
- 関係行政機関
- 地方議会図書室
- 民間調査研究施設
- 民間団体等〔福祉・介護施設、病院、刑務所、研究所〕

156

連携・協力(望ましい基準)

- 幅広い連携
図書館相互、国立国会図書館、議会図書室、
学校図書館、大学図書館、学校、博物館、公民館、
関係行政機関、民間調査研究施設、民間団体等
- 留意点
 - ・今後一層の関係強化
 - ・重要性が増し、連携の可能性の検討が求められる。
 - ・双方の連絡・相談・打合せ、立場・利害の理解、連携・協力
 - ・できるところの可否を検討、よい関係の構築(敬意・信頼)

157

相互貸借と図書館ネットワーク

- 都道府県立図書館の図書館資料搬送網の整備
- ・ 全域(市町村)への資料提供等の基盤
- 横断検索、総合目録等ネットワークシステム
- 都道府県立図書館の協力貸出、都道府県単位を越えるブロックレベルの相互貸借
- 学校への貸出:学校教育支援(相互貸借、情報提供、研修等)
- 専門図書館等との相互貸借、
- 関係機関との連携・協力:地域の課題解決支援

158

学校図書館

- 主体的・対話的で深い学び:アクティブ・ラーニングの視点
 - 図書館資料の充実、司書教諭、学校司書の配置充実・資質能力の向上
 - 探究学習、調べ学習
 - 公共図書館との連携
 - 学校司書 学校図書館法の一部改正
- 第六条 学校には、前条第一項の司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員(次項において「学校司書」という。)を置くよう努めなければならない。

159

PIAAC(ピアック 国際成人力調査)

- PIAACの調査結果の分析をもとに、国民の「成人力」と読書活動や図書館サービスの関連を解明し、必要に応じて図書館の在り方や関連施策等の提示を行うことも求められる。(その他留意すべき事項 国の役割)『図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて』p13
- PIAAC:OECDが実施する、各国の成人が日常生活や職場で必要とされる技能を測定することを目的とした世界初の大規模な国際比較調査。16歳から65歳を対象として、「読解力」、「数的思考力」、「ITを活用した問題解決能力」及び調査対象者の学歴、職歴などについて調査する。平成23年度に国内調査を実施。

160

図書検索に関する問題

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/data/Others/_icsFiles/afiel_dfile/2013/10/16/1287165_2.pdf

読解力:文章や図表を理解し、評価し、活用する力

例示:図書館の蔵書検索システムを使って、指定された条件に合う本を選ぶ。(アクセス・特定:書誌事項の特定)

統合・解釈:内容説明の読解と推論、評価・熟考

* 知識基盤社会の成人力、コンピテンシー

『成人スキルの国際比較:OECD国際成人力調査(PIAAC)報告書』(国立教育政策研究所編 明石書店 2013 p75-81)

『成人力とは何か:OECD「国際成人力調査」の背景』(国立教育政策研究所内国際成人力研究会編著 明石書店 2012 p10、25、46-49)

161

他との連携の際の図書館資源の視点 「これからの図書館像」から図書館の持つ特徴

- 図書館が本来持っている資源
- ・ あらゆる主題・分野にわたる資料
- ・ 資料や情報の検索システム
- ・ 司書を含む職員
- ・ 閲覧席、集会室などのスペース等
- 図書館の能力
- ・ 情報検索能力、情報を整理・体系化して提供する力、集客力等(幼児から高齢者までの全ての人々への公開)
- 図書館の付加的な資源
- ・ 立地条件、土・日曜日・夜間等にわたる開館日・開館時間、名称、雰囲気、地域における認知度等

162

多様な学習機会の提供(望ましい基準)

- 講座、相談会、資料展示会等主催
関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催
- 利用者・住民の情報活用能力の向上
情報リテラシー、情報の活用能力、資料・情報の選択能力

163

例 「地域の情報拠点」としての図書館 ヨコハマライブラリーカフェ

- 研究者・専門家の講義と参加者の意見交換による参加型事業
- 人から学び、自分で学ぶ、知的情報共有の場
- 目的:学術研究と市民を結ぶこと
- 最先端の研究成果・活動の講義
- 資料の紹介等
- 課題解決支援

164

- 連携
市内研究機関、企業、市役所他部署等
- サイエンスカフェ→ライブラリーカフェへ
人文・社会科学、郷土も
- 関連資料の展示
- ブックリストの配布
- ミニ展示コーナーの設置

165

例 塩尻市立図書館 本の寺子屋

- 塩尻市立図書館
- 信州おじり 本の寺子屋
- 講演会、対談、講座、朗読会、コンサート

「信州おじり 本の寺子屋」研究会著『本の寺子屋』が地方を創る:塩尻市立図書館の挑戦』東洋出版社 2016.5

166

公共施設等総合管理計画の策定要請

(平成26年4月22日 総務省)

- ・公共施設等の老朽化対策:大きな課題
- ・地方公共団体の厳しい財政状況
- ・今後の人口減少等→公共施設等の利用需要の変化予想
- ・公共施設等の全体の状況を把握
- ・長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化などの計画的実施
- ・財政負担の軽減・平準化
- ・公共施設等の最適な配置の実現
- ・PPP PFIの活用

167

公共施設等総合管理計画と図書館の課題

対応の諸課題

- 地域館・分館の廃止や施設の集約化と、全域奉仕網
- 直営、指定管理者、PPPによる管理運営
- 市民ボランティアとの協働
- 移動図書館、無人化、電子書籍の導入
- 生涯学習:子ども、高齢者、障害者をはじめ身近な図書館利用
- 質の高い図書館サービス、専門的知識や技能の継承
蔵書や利用者対応に精通していれば、的確かつ迅速に対応可能
- 住民の利用割合と未利用者への利用促進の広報
- 地域の情報拠点としての課題解決支援サービス

168

■ 「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項について」(平成27年8月28日付総務大臣通知)

- 行政サービスのオープン化・アウトソーシング等の推進
- 民間委託等の推進、指定管理者制度等の活用
- 「指定管理者制度の運用について」(平成22年12月28日)を十分に踏まえて対応
公の施設の設置目的を効果的に達成するため必要があると認めるときに活用できる制度、公共サービスの水準の確保、単なる価格競争による入札とは異なるもの...
- 地方自治体の財政マネジメントの強化
- 公共施設等総合計画の策定促進
- PPP/PFIの拡大

169

イギリスでは、

- 英国の文化・メディア・スポーツ省が公共図書館閉鎖問題に関する報告書を公表
カレントアウェアネス・ポータル(2012年11月7日)引用
<http://current.ndl.go.jp/node/22267>
- 経費削減と地域の図書館サービスのニーズ
- 「包括的で効率的な図書館サービス」を提供する法的義務

170

地域の公共図書館が閉鎖された場合の影響

- 地域の公共図書館が閉鎖された場合の本人や家族への影響
大きな影響がある: 15.2% + 影響がある: 31.4% = 46.8%
性・年代別 女性50代: 51.9%、女性70代以上: 51.4%、
女性30代・40代: 50.9%
- 地域の公共図書館が閉鎖された場合の地域にとっての影響
大きな影響がある: 15.0% + 影響がある: 40.6% = 55.7%
性・年代別 女性60代: 60.8%、女性50代: 60.7%、
女性70代: 59.5%

「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」(国立国会図書館関西館図書館協力課 国立国会図書館2015-03-31) 集計レポート Q32, Q33 から

171

指定管理(望ましい基準)

- 図書館の管理を他の者に行わせる場合
- ・ 図書館の事業の継続的かつ安定的な実施の確保
- ・ 事業の水準の維持及び向上
- ・ 司書及び司書補の確保並びに資質・能力の向上等
- ・ 当該管理者との緊密な連携

172

図書館界における反応(例示)

「公立図書館の指定管理者制度について—2016」 (公益社団法人日本図書館協会)

この制度の公立図書館への導入の判断は、各自治体の自主性に委ねるものですが、当協会は、我が国の今後の公立図書館の健全な発達を図る観点から、公立図書館の目的、役割・機能の基本を踏まえ、公立図書館への指定管理者制度の導入については、これまでの見解と同様に、基本的になじまないと考えます。

- ・ 制度上の課題、手続き上の課題、設置者側からの課題、利用者側からの課題

173

指定管理者制度の導入の際の留意点

- 安定した運営が可能な指定期間を検討すべきということ
- 職員に対しても安定的な処遇を確保すること
- 若手の人材養成も含め、長期的視点に立って育成を考えること
- 自治体が指定管理者の業務の履行状況について適切にモニタリングをすることなど
(第174国会 衆議院文部科学委員会 平成22年5月28日 答弁からまとめ)

174

- 「経済・財政一体改革の推進に向けた地方行財政改革の取組について」(平成28年11月25日高市議員提出資料)
 - http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaiqi/minutes/2016/1125/shiryu_07.pdf
 - 民間委託等の業務改革を実施している地方団体の経費水準を地方交付税の基準財政需要額の算定に反映するトップランナー方式を推進することとしているが、
 - トップランナー方式の検討対象業務(図書館管理等5業務)についての導入を見送ることとする。
- 地方団体においては、以下の観点から指定管理者制度を導入しないと意見が多い。

175

- 教育機関、調査研究機関としての重要性に鑑み、司書、学芸員等を地方団体の職員として配置することが適切である。(図書館・博物館等)
 - 地域づくりの拠点として重要な役割を有しており、行政や地域との密接な関係を安定的・継続的に維持していく必要がある。(公民館)・子育て支援機関として重要な役割を有しており、保育所、学校その他の機関との連携が重要である。(児童館等)
 - 専門性の高い職員を長期的に育成・確保する必要がある。
- 関係省(文部科学省及び厚生労働省)や関係団体(日本図書館協会等)において、業務の専門性、地域のニーズへの対応、持続的・継続的運営の観点から、各施設の機能が十分に果たせなくなることが懸念されるとの意見がある。
- 実態として指定管理者制度の導入が進んでいない。
- 社会教育法等の一部改正法(2008年)の国会審議において「社会教育施設における人材確保及びその在り方について、指定管理者制度の導入による弊害についても十分配慮し、検討すること」等の附帯決議がある。

176

だれのための図書館

- 伊万里市民図書館
- 伊万里市民図書館友の会 図書館フレンズいまり:協力と提言 パートナー
- 瀬戸内市民図書館
- 住民参加による図書館整備、図書館と住民とのつながりの輪が広がる
- 結果としての外部資源の活用

177

個人情報保護

- 個人情報とプライバシー
- 新保史生氏のまとめ(公知,非公知,機微 個人情報とプライバシーの関係)
 - 新保史生「図書館と個人情報保護法」『情報管理』47(12) p818-827 2005
 - https://www.istage.ist.go.jp/article/johokanri/47/12/47_12_818/_pdf
 - *新保史生「図書館における改正個人情報保護法対応の要配慮事項」(特集 個人情報の活用と保護)『情報の科学と技術』66(11), 560-565, 2016

178

⑨先進事例等参考調査・文献

- テーマ計画関係の様々な資料や情報
- 『図書館実践事例集～人・まち・社会を育む情報拠点を目指して～』
 - 「カレントアウェアネス」
 - インターネット情報
 - 参考文献等

179

図書館実践事例集

人・まち・社会を育む情報拠点を狙って

- 全国各地の図書館の特徴的な取組事例
- 図書館が一層の機能強化に向けたアクションを起こす際の参考
- 連携、様々な利用者へのサービス、課題解決支援、まちづくり、建築・空間づくり、電子図書館、その他
- http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosh/jirei/index.htm

180

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ①自治体と図書館の把握
- ★②図書館の現状・課題の把握と分析、
課題解決策の検討
- ③図書館のめざすもの
- ④サービス計画(年次)

181

〇〇図書館サービス計画 (シート3 現状と課題、課題解決策)

■ 項目

項目は、ひとまとまりにできる程度の内容ごとに記述します。

例えば、レファレンスサービスであれば、「レファレンスサービス」「参考資料(レファレンスツール)整備」「データベース」「パスファインダー」「レファレンス協同データベース」「PR」「職員研修」等の項目が考えられます。

182

■ サービス・事業の現状(内容)

ここは「項目」に対してのサービス・事業の現状(内容)を記述します。

例えば、「レファレンス協同データベース」の項目では、「レファレンス事例年3事例、職員1名で作成し、国立国会図書館に年1回提供している。」といった内容になります。

183

■ サービス・事業の課題・問題点

ここは「サービス・事業の現状(内容)」に対しての課題や問題点を記入します。

例えば、レファレンス協同データベースの項目の問題点としては、「レファレンス事例の作成が年3事例では少ない。職員1名では広がりにつける。年1回の提供では頻度が少ない。課題は、複数の職員でレファレンス事例を作成できていない。レファレンス記録を日常的にまとめる習慣ができていない。」といった内容になります。

ここは現状(内容)に対する評価となる部分です。

現状の課題をどう判断するかをグループで十分討議して下さい。

184

■ 課題解決策(の内容)

ここは先の項目で出された「課題」や「問題点」に対してどのような方向で解決していくのかという内容を記述します。

例えば、「レファレンス協同データベース」の項目では、「レファレンス事例を年10事例作成し、年2回の提供をめざす。ノウハウを共有するため、マニュアルを作成する。職員1名をレファレンス協同データベースの研修会に参加させる。レファレンス記録用紙を用意し、日頃からよい事例があったときには、記録をまとめる。」といった内容になります。

185

- 日常業務から離れ、図書館を外部の視点から見直し、比べる(自館の成長、他館)。
- 図書館の現状の分析(統計、利用者調査・意見、図書館協議会、図書館評価など)
『日本の図書館』の統計
- 人口段階別図書館状況一覧で、人口規模が類似する自治体のうち、サービス水準、職員数、予算が高いか、類似する自治体と比較する。

186

- 基準には数値目標はない。報告書に「目標基準例」が掲載され、貸出密度上位の公立図書館整備状況を記載。
- 最新の数値：“数字で見る日本の図書館(その75)「貸出密度上位の公立図書館整備状況・2016」について”『図書館雑誌』2017年5月p314-315掲載
- 現状の課題への気づきが大切、洗出し、分析が改善の基(深く掘れば、泉が湧く。)
- 長期的な課題、短期的な課題、課題解決の方策の検討

187

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ①自治体と図書館の把握
- ②図書館の現状・課題の把握と分析、課題解決策の検討
- ★③図書館のめざすもの
- ④サービス計画(年次)

188

〇〇図書館サービス計画 (シート4 目標・方針)

- 1 図書館の基本目標・方針
ミッション
図書館の使命、理念
基本目標、基本方針
- 2 テーマ計画の具体的目標・方針
ビジョン
具体的目標、具体的方針、戦略的目標

189

- 図書館のめざすもの(ミッションやビジョン)の検討の際、現状から頭を切り替え、熱意あふれる理想的な夢や絵を描く(イメージを浮かべる)。

190

図書館のめざすもの

- 竹内慈編・訳『図書館のめざすもの』(新版 日本図書館協会 2014.10)
- ・「アメリカ社会に役立つ図書館の十二か条」所収
- ・(12 ways libraries are good for the country)
- ・私たちの望む図書館の姿を考えるヒント、参考に
- 『米国の図書館事情2007:2006年度国立国会図書館調査研究報告書』国立国会図書館関西館図書館協力課編 日本図書館協会 2008
<http://current.ndl.go.jp/series/no40>

191

図書館を利用する権利に関する宣言 (アメリカ図書館協会)

図書館が生活を変える (山本順一訳)

- ・バーバラK・ストリプリング前会長の講演から
児童生徒学生・成人が学習、成長、夢の達成に図書館を利用。知識を広げ新しい世界に眼を開くことができる。
- ・「図書館を利用する権利に関する宣言
図書館が生活を変える」
山本順一著『図書館概論』(ミネルヴァ書房 2015.5 講座・図書館情報学2)p2-5 から

192

● 図書館は、...（「図書館は」を主語に10項目がある。）

- ・ 個人に力を与える
- ・ リテラシーの向上と生涯学習を支援する
- ・ 家族のつながりを強化する
- ・ 偉大な平衡装置である
- ・ コミュニティを育成する
- ・ わたしたちの知る権利を守っている
- ・ わたしたちのこの国を強化する
- ・ 研究開発と学術を推進する
- ・ わたしたちがお互いをよりよく理解するのを助けている
- ・ わたしたち国民の文化遺産を保存する

193

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ①自治体と図書館の把握
- ②図書館の現状・課題の把握と分析、課題解決策の検討
- ③図書館のめざすもの
- ★④サービス計画(年次)

194

〇〇図書館サービス計画 (シート5 年次計画)

■ 項目

シート3 現状と課題、課題解決策の項目が、この項目になります。

■ 事業名と事業内容

シート3現状と課題、課題解決策のうち、課題解決策(の内容)に書かれたものを、具体的事業としてここに記入します。

195

■ 達成目標や指標

- 各事業の達成目標や指標を記入します。
- 初年度、2年度、3年度の3年度分を記入します。
- 内容、積算
各事業に関する内容と経費の積算(計算式)を記入します。
例 旅費2,500円×2人=5,000円
- 経費
年度ごとの計算できるよう、数値のみ記入します。
- 備考(補足説明): その項目の補足説明を入れます。

196

- 1 図書館の目的・社会的使命: 使命, ビジョン, 運営理念, 基本目標(基本方針)
- 2 サービス計画の立案(事業項目・内容・量)
- 3 計画の達成目標(達成課題)
- 4 サービス指標の選定, 数値目標の設定
- 5 計画の達成に向けたサービスの実施
- 6 評価: 数値目標の達成状況等の自己点検・評価, 各年度の図書館サービス状況

197

- 図書館業務全体の中での位置づけ(優先度, 重要度, 図書館経営資源の再配分)
- 図書館の業務・組織の流れ, 相互関連(資料の収集・整理・保存・利用)を勘案する。
- 計画は図書館のめざすものを視野に入れ, 課題分析に対応した解決策について, 優先順位, 到達目標, 実現可能性等を総合的に勘案する。

198

- 計画は複数案作成し、内容、長所、短所、経費を比較できる提案が柔軟に対応できる。
- 最善の計画案が選ばれなくとも、現案の長所を活かし、長期的視点で実現をめざす。
- 計画の実現に当たり、段階的に構築する。
先進視察、職員の研修→ サービス構築

199

文教予算の編成の視点

- ・ 政策の合法性
- ・ 政策の意義
- ・ 政策の緊急度
- ・ 政策の成熟度
- ・ 要請の強さ

『文教予算の編成』斎藤諦淳著、ぎょうせい、1990. p38

200

- 図書館をよくしたいという計画中の文章にこもる熱意は、行政や住民に伝わり、共感を広げ、力となる。サービス計画の中核的テーマを煮詰めたキャッチフレーズの創作。
- 第三者に対してわかりやすく説得力のある説明ができるよう、筋の通った書き方、用語の意味、図表等の活用、資料の見やすさに留意し、流れるような文章に練りあげる。
- 読みたい見出し、きらりと光るキーワード

201

- 計画は必ずしもうまくいくとは限らない。うまくいかなかった要因を分析し、より一層よいものとするため、改善の時間が与えられたと考え、次の計画に活かす。
- 「今なければ、創ればよい。」と考える。
DIY (Do It Yourself) : 自分でやろう
- 図式や漫画絵の創作による説明はわかりやすい。

202

- 図書館の発展、成長の視点から、各段階や時期に合った計画を描く。
- 図書館の成長は、物理的なものに限らず、達成過程の苦難を成長の糧ととらえる。
- 地域住民の必要に真に根ざした図書館サービスや運営は、風雪に耐える。⇒樹の根

203